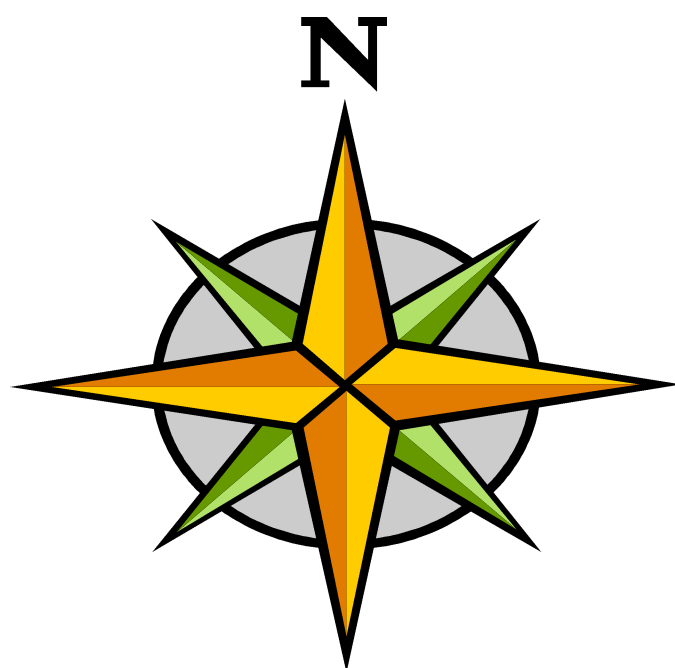


令和7年度

進路説明会資料



佐倉市立南部中学校

【はじめに】

いよいよ義務教育9年間の終了が迫り、中学校卒業後の進路を決定する大事な時期を迎えました。生徒たちは、高校のホームページから情報を集めたり、夏季休業中に学校説明会や体験入学に参加したりするなど、自身の進路決定に向けて歩み始めています。今回の進路説明会は、高校入試の具体的な内容についてご説明しますので、会の終了後はぜひご家庭でお子さまと話しを共有し、考えを深めていただきますようお願い致します。

この後中学校では、学習とともに入試で行われる「面接」の練習、「出願準備と書類作成」を指導・支援していきます。そして、第2回の三者面談を11月21日（金）～11月28日（金）に実施致します。この面談では希望する高校の可否の可能性を考えながら、より具体的なアドバイスをさせていただきます。入試を目前に控え、志望校を決定することで自身の目標が定まり、さらに学習意欲が高まっていくと考えます。事前にご家族でよく検討してください。

なお、私立高校の受験を希望する場合、この面談期間で希望校とその順位を確実に決定してください。その後の頑張り期待し、志望校の決定を先送りにすると、受験の事前に行われる入試相談において、事務手続きの都合上相談することができなくなる可能性がありますのでご注意ください。

目標をしっかり定めて、余裕を持ってその後の日々を充実させていきたいと考えます。進路実現に向かって順調に進んでいけるよう、以下の点についてご家庭で再度確認をお願いします。

自己の生き方、進みたい道を考えているか

- ☐ 将来の夢や目標を持っている。
- ☐ 就職や進学についての見通しを持っている。
- ☐ 就職したい時期が決まっている。
- ☐ 就職したい職種や業界が決まっている。
- ☐ やりたいことや挑戦したい夢がある。

能力・適性や進路希望などから、進路を考えているか

- ☐ 自分で能力や適性を把握している。
- ☐ 自分の興味があること、関心のある分野がわかっている。
- ☐ 現在の学力を客観的に確認し、受け止めている。
- ☐ 将来進みたい道に向かう進路先を選択しようと考えている。
- ☐ 志望したい学校が、自分の個性を伸ばしやすいか情報収集をしている。

主体的に進路を選択しようとしているか

- ☐ 進路希望先の学校説明会(体験入学)に進んで参加している。
- ☐ 進路希望先のホームページをよく閲覧し、情報を得ている。
- ☐ 校風を把握している。
- ☐ 教育目標を把握している。
- ☐ 教育方針を把握している。(宗教を建学の精神としている学校もある)
- ☐ 教育内容、カリキュラム等の特色を把握している。
- ☐ 進路希望先の通学の距離や時間、環境(施設設備)を把握している。

- 進路希望先の部活動の活動状況を把握し、入部し活躍しようと考えている。
- 入学試験の難易度を知るための方法を考え、実行しようとしている。
- 自分で考え、相談しながら、希望する学校を決めようとしている。
- 学費や入学金、諸経費さらに通学費の支払いについて、家庭内で確認している。

必ずしも、チェックがついた方が良いとは限りません。家庭で一緒に確認することが大切です。問題点があれば、改善していきましょう。

1 進路実現に向けて

これからの進路決定に向けての活動は、多くの生徒たちにとって初めてのことです。就職するのか、進学するのか。進学する場合は、志望校の決定や出願、入学試験、合否発表とたくさんの「初めて」が待ち受けています。この先は、学習面・健康面のことに不安を感じたり、周囲の友達の状況が気になったりと様々な葛藤が予想されます。試験を前に不安に思うことは人によって差はあると思いますが、誰にもあることです。その不安を抱え込まず、周囲の人に相談するなどして自分なりに解決し、未来を切り拓いていってほしいと思います。

<ポイント>

- ①仲間と悩みを共有して不安の解決を図ることも有効ですが、何よりも頼りになるのは親身になって相談にのってくれる家族と担任の先生です。困っていることなど相談してみると、解決のヒントが見えてきます。
- ②この進路でいいのだろうかと周囲の人たちと比べて不安になってしまふことがあります。志望校決定は自分自身でよく検討して決定し、自信を持って進路実現に向け努力していくことが大切です。一番の不安解消は、自分の取り組みに自信を持ち、最後まで目標に向けて頑張ることです。
- ③学習面の不安は一番大きいと思いますが、自分の目標をしっかりと押さえ、今日から受験の当日まで、着実に学習することが大切です。また、面接や作文は練習を何回も行えば自分の考えが整理でき、自信がつき、こつがわかってくるものです。納得がいくまで準備をしてください。
- ④受験の結果によっては、当初の希望通りに進めない可能性もありますが、その場合には、「どこに進学するのか」ではなく、「進学したところでどのように頑張るか」が大切であることをしっかりと理解してほしいです。保護者の方には、新しい学校生活に希望をもって入っていただけるように助言をお願い致します。

2 志望校の決定

志望校の決定に向けて

志望校の決定にあたっては、生徒自身の希望や能力・適性を考えて、生徒・保護者・担任(学校)の三者で話し合い、納得できる形を目指します。もちろん最終的には生徒自身が決めます。三者による話し合いでは、下記のような観点を確認していきます。

「行きたい高校はここだけだ」のように固執した考えでは、高校への過度の期待から、入学後の現実に対応できなかったり、第二、第三希望に進んでも、進路変更(退学など)が生じてし

もう可能性が高くなります。将来や高校入学後の目的意識、目標が持てるよう十分に家庭で話し合いを持った上で、希望の進路を考えてください。また、成績のみで考えた進路決定は、進学後に苦しくなることがあります。なぜなら入学後、授業についていくこと自体が大変になりかねないからです。

<ポイント>

- ①進路先にはっきりとした目的意識を持っているか。(志望の動機)
- ②入学後の生活や学習についてしっかりと考えているか。(高校生活への希望)
- ③自分の興味や関心・能力や適性について十分に検討したか。(客観的判断と相談)
- ④合格の可能性だけでなく、将来にわたる見通しを持ち、最終的に本人が自分の責任において進路を決定しているか。(進路情報の吟味と決定)
- ⑤第1希望の進路に進めなかった場合、第2希望の進路も考えているか。

Ⅱ 志望校の候補が決まったら

話し合いの後、希望する高校の候補が決まったら、第2希望の学校でも必ず、説明会・体験入学に参加したり、学校案内・募集要項をよく読んだりしましょう。以下の観点を確認してください。場合によっては、再検討が必要になることもあります。

①学校の環境や在校生の様子を実際に見ます。

学校訪問(説明会・見学など)に行ってください。通学時間や方法についても、実際に確認しましょう。

※その際の印象を面接などで問われることもあります。

②試験日を確認します。

複数校受験する場合は、他の私立高校と試験日が重なる場合があります。また、同じ高校でも、受験形態や志望順位(単願・併願)や学科によって試験日が異なる場合もあります。

③入試スケジュールを考えます。

私立高校を2つ以上受験する場合、日程的に厳しいスケジュールだと、心身に相当の疲労をもたらしてしまいます。

④試験科目・内容を確認します。

- 面接(グループ・個人)や作文はあるか?
- 筆記試験は3教科か5教科か?
- リスニングはあるか?
- 記述式かマークシート方式か?

⑤合格発表の日時や方法を確認します。

学校掲示・ホームページ掲載・郵送・手渡しなどがあります。

※1 感染症予防の観点で、掲示発表の仕方に指示がある場合があります。

※2 発表の日が、他の高校の出願日や試験日と重なる場合もあります。

⑥入学手続き・延納手続きの方法を確認します。

金額・支払い方法・最終手続き日時を確認し、早めに手続きを行ってください。

締め切りに間に合わない場合は、合格が取り消されてしまいます。

⑦年間に必要な経費を調べます。

※受験料、延納金（必要な場合）、入学金、授業料（公立高校・私立高校も経済状況に応じて就学支援金が支給されます。）

※施設・設備費、修学旅行等の積立金その他、通学費などの経費についても調べます。（私立高校は、初年度納入額が約40万円～100万円と様々です。）

⑧その他、特色を確認します。

高校にはいろいろな特色があるため、学校説明会等での内容や資料、ホームページで確認する必要があります。

3 進路事務について

【重要】昨年から公立高校でもインターネット出願となりました。

昨年度から一般入学者選抜等におけるインターネット出願が全校実施となりました。詳細は12月下旬に各高等学校のホームページに「出願登録サイト」と「志願者マニュアル」のURL等が掲載されるため、そこで確認をしてください。

～インターネット出願全校実施による変更点まとめ～

入学願書は書かない。志願者情報を入力する。

- ・公立高校の志願者情報の入力には志願する高等学校のホームページから「出願登録サイト」へアクセス。
- ・入力した内容のデータは、志望校へ直接提出されるため出願の際の送付は不要です。
- ・志願者情報の入力は志願者本人または保護者が行います。

受験料（入学検査料）はクレジットカード等で納付可能。

- ・クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーで納付が可能です。
- ・金額はこれまでと変わらず、全日制2,200円 定時制・通信制は950円です。
- ・入学検査料（受験料）の納付は志願者本人または保護者が行います。

写真はスマートフォン等で撮影したものを使用可。

- ・インターネット出願の場合は写真をアップロードするものもあるため、要項等に記載されている指示に従って行います。

出願申込に必要な書類は中学校でとりまとめて郵送。

＜中学校でとりまとめる主な書類＞

- ・ 調査書
- ・ 自己申告書（必要な人のみ）
- ・ 志願理由書（必要な学校のみ）

受験票は各自で印刷して検査当日に持参。

～やむを得ない理由により、インターネット出願ができない場合～

- ①中学校から高等学校へインターネット出願ができない旨を伝えます。それが認められた場合に限り、紙での出願が認められます。願書は千葉県教育委員会のホームページから印刷し、作成します。
- ②願書に貼る写真はサイズや枚数をよく確認し、撮影する。写真の裏には中学校名と氏名を記入する。また、願書を清書（印刷）し、確認が完了した後に貼付する。（封筒の切手も同様）
- ③検査料（全日制２，２００円 定時制・通信制は９５０円）分の収入証紙を購入して願書に貼る。
※ 願書に使用する収入証紙や写真はご家庭で購入してください。また写真を貼る場合も、ご家庭で準備をお願いします。
- ④出願書類は受験者本人または保護者が直接志望する高校に提出をします。郵送をする場合は、受験票や入学願書受理票を送付するための返信用封筒（１１０円【料金改定があった場合は改定後の料金】分の切手も貼り付け）、志願者の住所・氏名及び郵便番号を表記したものを提出します。

インターネット出願の御案内

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜では、全ての公立高等学校において、インターネット出願を実施します。以下の出願概要等に従い、手続を進めてください。なお、追加募集、秋季入学者選抜及び通信制の課程の入学者選抜（三期・四期）を除く、全ての選抜が対象となります。

本検査のインターネット出願概要（中学校に在籍している志願者）



① 志願者情報の登録

●志願する高等学校のウェブページから志願者情報を登録し、中学校に確認してもらう。



② 必要書類を中学校へ提出する

●自己申告書等、必要な書類があれば中学校に提出する。



③ 入学検査料納付

●クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーで入学検査料を納付する。



④ 中学校が高等学校へ調査書等を郵送する

●中学校が調査書等の必要書類を高等学校へ郵送する。※入学願書は郵送しない。



⑤ 受検票・受理証を印刷する

●マイページから自宅のプリンターやコンビニ等で印刷する。



⑥ 受検

●受検票を持参して受検する。

【注意1】

上記③の納付後は、学校・選抜の種類・課程・学科・部を変更することができませんので、志願先が確定した後に、インターネット出願手続を行ってください。なお、万が一納付後に変更する場合には、一旦変更前の志願先に出願後、志願又は希望の変更期間に変更手続を行うことになります。

【注意2】

中学校に在籍していない志願者は、志願者本人が必要書類を志願する高等学校に郵送します。

【注意3】

やむを得ない理由によりインターネット出願ができない場合は、紙の入学願書を提出してください。ただし、事前に高等学校へ連絡してください。

□ 出願書類の作成

出願書類の作成にあたっては募集要項をよく確認し、必要事項をしっかりと記入してください。出願書類に不備がある場合や提出期限を過ぎてしまった場合、出願書類は受理されませんので注意してください。願書作成時の注意は、以下の通りです。

① 注意事項をよく見て、正確に入力をする。

- ・記入するものがある場合、できるだけ丁寧な文字を心掛け、楷書で記入する。
- ・書類の記入上の注意事項をよく読むとともに、記入（入力）もれがないようにする。
- ・志願校名や志願者現住所は略記せず、正式名称を確認し、入力（記入）する。

（例）愛国四街道高校 → 愛国学園大学附属四街道高等学校
佐倉東高校 → 千葉県立佐倉東高等学校

- ・氏名の字は、戸籍で使用している字（役所に届けているもの）で入力（記入）する。また、ふりがなは、ひらがなとカタカナの別に注意する。

（例）「ふりがな」とあったら ひらがな で記入する。
「フリガナ」とあったら カタカナ で記入する。
・マークシートの記入は指示された濃さの鉛筆で行う。

② 写真撮影をする（入試要項等を確認したうえで撮影）。

③ 押印がある場合、スタンプ印は使用しない。押印時に欠けや擦れがないように注意する。また、願書で使用している氏名の字と印をそろえる。（間違いの訂正時にも使用する）

④ いくつかの書類がつながっている場合、指示がないものに関しては、勝手に切り離さない。（私立高校の受験料の振込依頼書なども同様）

※1 私立高校で入試相談があるものについては、その結果後に手続きをする。

※2 私立高校のインターネット出願（Web出願）では、各家庭でパソコンやスマートフォンで入力することになるが、学科やコース、受験区分を間違えたまま、手続きを進めてしまうと、訂正ができないことがあるので、十分に気をつける。

※3 ネット出願では、受験料の入金が確認されてから願書・写真票・宛名票が印刷できるようになる場合がほとんどである。出願書類の郵送にあたっては、簡易書留等の指示があるので募集要項をよく読んで対応する。（郵送の日付指定は遵守する）

Ⅱ 進路関係の書類について

（１）募集要項等の取り寄せ

- ・県内公立高校・高等技術専門学校（職業訓練校）は中学校で準備します。
- ・私立・国立・専修等学校については、個人でなるべく早めに取り寄せてください。

(2) 願書・調査書の作成

出願のために必要な情報をパソコンやタブレット等で入力

- ・調査書については、担任が作成し、校内の進路対策委員会で点検を行います。厳封した状態のものを、生徒が志願先の高等学校等に提出します。なお、調査書の正確な記載を図るため、記載内容を事前に保護者の方に確認していただいています。1・2年の内容分と3年次分の2回に分けて学習記録等確認書をお渡ししますので確認の上、各学級担任に返却してください。
- ・令和8年度(令和7年度実施)千葉県公立高校入学者選抜の改善点は以下のとおりです。配慮の必要な生徒の負担等にならないよう、調査書の記載項目を精選し、削除となりました。削除となる項目は○総合的な学習の時間の記録○出欠の記録○行動の記録(第3学年)○総合所見となります。出欠の記録につきましては私立高校入試で必要となる場合があります。

(3) 推薦書(私立高校に必要な人のみ)・志願理由書・自己申告書の記入

- ・学校長推薦の場合の推薦書については、中学校で記入します。
- ・自己推薦による自己推薦書または志願理由書については、本人が直筆で記入します。
(自己推薦書には保護者の押印が必要な場合があります。)
- ・公立高校の出願の際、自己申告書を提出する場合は、本人が記入します。特別な事由で保護者が代筆、加筆をした場合はその旨を記入します。
(中学校長に提出することを報告した後、封をした上で高校の校長に提出します。)

(4) 願書・調査書の提出

- ・公立、私立ともに本人(場合によっては保護者)が提出(郵送)します。
- ・公立高校の受検に必要な受験料は全日制2,200円、定時制・通信制は950円となります。
- ・私立高校については各学校で異なりますので入試要項等をご確認ください。

(5) 入試引率

- ・原則として行いません。本人及び保護者の責任のもとで行動していただきます。

(6) 合格確認

- ・本人(または保護者)が確認し、合格・不合格いずれの場合も、学校に報告してください。

(7) 入学手続き

- ・合格後の入学手続きや延納手続きについては、各家庭で確実に行ってください。

(8) その他、志願変更・希望変更等

- ・やむを得ず、志願変更や希望変更をする場合は、早めに相談してください。
- ・転居等を予定されている場合は、できるだけ早く学級担任にご相談をお願いします。転居先の住所が県内であっても公立普通科の学区が変更になったり、他県の高校を受検する場合は、特別な手続きや制約がある場合があります。

4 本年度の進路情報

I 公立高校の入学者選抜

1 一般入学者選抜

令和3年度より、公立高等学校の入学者選抜(令和8年度入学者選抜といいます)が前・後期選抜がなくなり、一般入学者選抜(本検査)の1回になりました。

(1) 募集定員

全日制の課程、定時制の課程及び三部制（午前部、午後部及び夜間部）の定時制の課程の入学許可

(2) 出願

【志願者情報登録・入学検査料納付機関】

令和8年1月13日（火）から2月2日（月）

【出願書類等提出期間】

令和8年2月3日（火）・4日（水） 9：00～16：30

令和8年2月5日（木） 9：00～12：00

(3) 第2希望

同一高等学校の同一課程で、異なる学科がある場合、第2希望を申し出ることができます。

（第2希望を申出て不利になることはない。第2希望に内定したら断ることはできない。）

(4) 出願に必要な書類（①～③は受検者全員が必要な書類です）

- ① 入学願書→出願登録サイトにおいて所要事項を入力すること。

入力した内容のデータは、志望校へ直接提出されるため送付不要。

- ② 調査書（中学校で作成します。）

- ③ 2日目の検査に関する別紙（各自が高校のホームページ等で別紙が必要か確認）

- ④ 志願理由書（必要な高校のみ。志願者直筆で黒のボールペンか万年筆を使用。）

※ただし、「1 志願の理由」「2 自己アピール」の欄については、鉛筆でも可（本人直筆）

- ⑤ 自己申告書（志願者本人が記入し封をする。）

※「欠席が多い理由」又は「障害があることによって生ずる事柄等」について説明を希望する者のみ提出。欠席日数は、1年間の欠席日数が30日以上の場合。原則として、本人が記入して封入する。（提出を希望する場合は担任まで申し出てください）

(5) 令和8年度千葉県公立高等学校定員減の学校

令和8年度第1学年生徒募集定員が発表されています。減となる主だった学校は

- ・千葉県立千葉工業高等学校(電子機械) 40減(40)
- ・千葉県立千城台高等学校(普通) 40減(280)
- ・千葉県立佐倉東高等学校(普通) 40減(120)

＜入学検査料一覧表＞

志願する高等学校及び課程		入 学 検 査 料
県立高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、県収入証紙による。
	定時制	インターネット出願の方法により 950円 ※上記でない場合は、県収入証紙による。
	通信制	
千葉市立千葉高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、千葉市の納付書による。
習志野市立習志野高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、習志野市の納付書による。
船橋市立船橋高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、現金による。
松戸市立松戸高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、松戸市の納付書による。
柏市立柏高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、現金による。
銚子市立銚子高等学校	全日制	インターネット出願の方法により2,200円 ※上記でない場合は、銚子市の納付書による。

※収入証紙を使用する場合、その収入証紙はご家庭で購入してください。

(5) 検査の実施

令和8年2月17日(火)1日目	令和8年2月18日(水)2日目
9:30 集 合	9:30 集 合
9:30～ 9:50 受付・点呼	9:30～ 9:50 受付・点呼
9:50～10:05 注意事項伝達	9:50～10:05 注意事項伝達
10:15 検査室着席完了	10:15 検査室着席完了
10:20～11:10 国 語	10:20～11:10 理 科
11:35 検査室着席完了	11:35 検査室着席完了
11:40～12:30 数 学	11:40～12:30 社 会
12:30～13:15 昼食・休憩	12:30～13:15 昼食・休憩
13:20 検査室着席完了	13:25～ 学校設定検査
13:25～14:25 英 語	
14:40～ 3教科実施校は学校設定検査	

・学力検査は、各教科50分、英語のみ60分で各100点、全県同一問題を実施する。

- ・筆記用具（シャープペン可）、三角定規一組（角度の目盛りのないもの。直定規は不可。）
- ・コンパス、消しゴム、弁当、上履き(入れる袋も)を持参する。（下敷きは持参しない。）
- ・時計を携帯する場合は、時計機能のみのものであること。（教室に時計なし → 持参する。）
- ・スマートフォン等の電子機器類は検査室に持ち込めない。
- ・検査室内では物の貸し借りはしないこと。

- ・学校設定検査の内容により、各高等学校の定めた指示に従うこと。（携行品、留意事項）

- ・2日目の検査は、高等学校の『一般入学者選抜の選抜・評価方法※各校のホームページ参照』をご覧ください。また、資料7も参考としてご覧ください。

《各検査の内容》

面接	志望理由、学習活動の様子や学校生活での活躍や高校入学後の意欲・関心さらには一般常識を問う。
集団討議	小集団で自分の意見を述べるだけでなく、他の意見を聞き討論する様子を評価する。
自己表現	決められた時間内に、受検者があらかじめ提出したテーマにしたがって発表する。自分の得意分野をPRできる。
作文	指示された字数・題名のもとに文章を作成する。自分の実績や長所、高校入学後の意欲・関心を主張できる。
小論文	与えられた論点について、自分の意見を論理的に述べる。個人的な問題より広く社会に関わる問題について求められることが多い。
適性検査	学校や学科の特色に応じて行う実技などの検査。自分がこれまで頑張った成果を発揮できる機会がある。（運動能力、楽器演奏、裁縫技量など）
学校独自問題	基礎・基本の定着を見る問題、思考力・応用力を見る問題又は教科横断的な総合問題による。
その他の検査	上記以外であらかじめ学校が示した方法による検査 例・県が作成する思考力を問う問題・集団に課題を与えて活動を観察する

（6）追検査

- ・感染性罹患による発熱等で、別室での受検も困難である等のやむを得ない理由により本検査（一般入学者選抜）を全部又は一部受検できなかった者は、所定の手続きで志願する高等学校長の承認を得て追検査を受けることができます。
- ・追検査受付期間 2月20日(金)午前9時から午後4時30分
2月24日(火)午前9時から正午までに提出（送付の場合も必着）
- ・追検査期日 2月26日（木）
- ・追検査の内容 本検査と同様（別問題）※1日で5教科と学校設定検査を実施する。

（7）選抜方法

学力検査の成績、調査書評定合計値、調査書記載事項、学校設定検査の結果を資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。
具体的には…

① 5教科の学力検査(500点満点)の結果

※理数科や国際関係に関する科については、教科に1.5～2.0倍することができる。

② 教科の学習の記録(1年～3年までの合計評定値:135点満点)にKをかけた値

※K…各校で定めた数値。多くは1【0.5(学力検査を重視)や2(中学成績を重視)の学校もある】Kの値については、各高等学校のホームページ上の『一般入学者選抜の選抜・評価』、または資料7（今年度の公立高等学校のKの数値や学校設定検査の内容が掲載されている）をご確認ください。

③ 特別活動、部活動の記録等での点数

④ 高校の学校設定検査(面接等)の点数

近隣の3つの高校（昨年度の例）

	県立佐倉高等学校	県立佐倉東高等学校	県立四街道高等学校
① 5教科の学力検査	500点	500点	500点
② 調査書	K=0.5 67.5点	K=2 270点	K=1 135点
③ 加点(特別活動など)	0(参考)	(上限)50点	(上限)20点
④ 学校設定検査	30点(面接)	60点(面接)	30点(面接と自己表現)

(8) 選抜結果の発表

選抜結果の発表（各高等学校に掲示）

令和8年3月3日（火） 午前9：00

- ・発表は各高等学校で、掲示により入学許可候補者の受検番号を発表する。
また、インターネット特設サイトにて合否照会を行う。
このサイトへのアクセス方法やアクセスに必要なURL（二次元コード）、ID、パスワードについては検査日等に志願者に知らされます。
- ・入学許可候補者は、その後の県の内外を問わず他の公立高等学校に出願してはならない。

(9) 入学辞退について

- ・志願を取り消す場合や入学を辞退する場合は、中学校長を通して速やかに手続きをしなければなりません。保護者の転勤で転居の可能性が出た場合等は至急中学校までお知らせ下さい。

(10) 第2次募集

- ・入学許可候補者が募集定員に満たない全日制、定時制の課程の全ての高等学校において追加募集を行うものです。
- ・出願書類は一般入学者選抜とほぼ同様、ただし一律に誓約書（所定様式あり）の提出があります。
- ・検査の内容は、「面接」を全ての高等学校で実施する他に「集団討論」、「自己表現」、「作文」、「小論文」、「適性検査」、「学校独自問題」による検査を実施します。

期日	事項
3月3日（火）16：00～3月5日（木）	志願者情報登録・入学検査料納付 登録は志願する高等学校のホームページから「出願登録サイト」へアクセスして行う。
3月6日（金）9：00～16：30 ※送付の場合も必着	出願書類等受付：調査書・学習成績一覧表 等
3月9日（月）9：00～16：30 ※送付の場合も必着	志願または希望変更受付
3月11日（水）	検査実施（9：30集合，10：10～検査） 検査の内容と時間等は各高等学校で定める。
3月13日（金） 9：00	志願した高等学校で入学許可候補者発表 インターネット特設サイトにて合否照会を行う。

② 地域連携アクティブスクールの入学者選抜

(1) 入学者選抜：一般入学者選抜と同じ日程で実施。

①実施する学校：泉高校、船橋古和釜高校、流山北高校、天羽高校、行徳高校、市原高校

②検査について

ア 第一日の検査

学力検査（国語・数学・英語）、各教科50分(英語は60分)、各教科100点
と作文（各学校が定めた検査）

イ 第二日の検査

面接（各学校が定めた検査）を実施。

(2) 第二次募集：定員に満たなかった場合のみ、他の公立高校と同じ日程で実施

①可能性のある学校：泉高校、船橋古和釜高校、流山北高校

天羽高校、行徳高校、市原高校

②検査について

- ・面接、作文（検査の時間については各高等学校が定める）
- ・志願理由書（県立船橋古和釜高校のみ出願時に提出する。その他の高校はなし）

③ 通信制の課程の入学者選抜（千葉県立千葉大宮高校）

(1) 一期入学者選抜

…一般入学者選抜と同じ日程で2月17日（火）に実施。検査は面接及び作文。追検査もあり

(2) 二期入学者選抜

…第2次募集と同じ日程で3月11日（水）に実施。検査は面接及び作文。

Ⅱ 私立高校の入学試験

① 私立高校の入試の特徴

(1) 特色ある教育方針や校風を持っている。

- ・教育課程の独自性（例：進学コース、能力別クラス編成、スポーツコース）
- ・生徒指導の重視（例：礼儀作法、身だしなみの指導徹底）
- ・特待生制度の実施（例：授業料・入学金の免除）

※学費等の経費は、公立に比べて割高になりますが、私立高校も経済的状況により就学支援金が国と県より支給されます。また、それ以外にも入学者の経済的負担を軽くするため、独自の制度を設けている学校もあります。

- ・高校、大学の一貫教育制度（系列大学や特定大学への推薦枠の確保）
- ・施設、設備の充実

各学校の特徴については、学校訪問や「学校案内」で事前に調べて、理解しておきましょう。

(2) 学区と受験校数

- ・学区制はなく、どこの地域からでも受験が可能です。
- ・試験日が異なれば、複数の学校を受験することができます。ただし、受験のスケジュールについては、慎重に検討してください。

(3) 入学試験日（各高校によって異なります）

千葉県内 **前期入試 1月17日(土)~**

※入試日を複数日にしている学校もあります。また、第1志望・併願等で入試日を指定する学校もあります。2度受験ができる学校もあります。

後期入試 1月下旬~2月中旬にかけて

※後期入試を実施しない私立高校もあります。

(4) 出願に必要な書類（各高校によって異なります。）

①願書、写真票、宛名票

- ※1 インターネット出願では、受験料の振り込み後に印刷ができます。
- ※2 インターネットによる出願となる学校がほとんどです。

②受験料（銀行やコンビニでの振り込みの場合が多い）

③写真（願書や写真票に貼付 サイズ・枚数を確認してください。電子媒体を貼り付けることができるものもあります。）

④調査書（中学校で作成します）

- ※ 要項に「千葉県公立高校のものと同じ形式」等と書いていない場合は、高校独自の様式の調査書になるので、担任に早めに提出してください。（主に県外の高校）

⑤推薦の場合、学校長推薦書（中学校で作成）、自己推薦書、志願理由書など

⑥その他（各高校ごと）

(5) 受験の区分

① 第1希望 ... その高校を第1希望としての受験者が対象

- ・専願（単願）
- ・専願推薦 ... 高校の定める基準をクリアし、中学校長が推薦できる者のみ対象
- ※1 合格したら必ず入学することが条件となる。
- ※2 合格直後に入学金等の全額を納入する必要がある。

② 併願 ... 第2希望以下の受験者が対象

- ※1 高校によっては、第2希望・第3希望での受験を別区分としている場合もある。
- ※2 合格したら一時手続き（延納金）を行って入学の権利を確保し、第1希望の高校を受験する。
- ※3 延納金を期日までに支払わないと合格していても無効となります。
- ※4 延納金は第一希望校が不合格の場合に入学金に充当。延納金がない高校もある。

- ・公立高校（第1希望）に合格した場合→公立高校へ行く。
- ・公立高校（第1希望）に不合格の場合→必ずその私立高校に行く。

(6) 入学試験の内容

〔推薦入試〕

- ・ 中学校の普段の成績（学力・スポーツを含む）を基準として、中学校長の推薦のもと、受験を行うもの。
- ・ 書類審査や面接、作文のみの場合もあるが、学力試験を行う場合もある。
- ・ 推薦基準については、各高校で定められており、入試相談（後述）の際に推薦の受験資格とその可能性について高校側と相談する。
- ・ 試験の名称は専願推薦・併願推薦、A推薦・B推薦など学校により異なる。また、各推薦入試は全ての学校で実施されているわけではないので、募集と入試の詳細は各校の募集要項で確認が必要。
- ・ スポーツ推薦（部活動推薦）等については、本校・相手校の顧問間で事前に相談が必要の場合が多い。

〔一般入試〕

- ・ 学力試験と面接を行う学校が多い。

<試験内容>

① 学力試験

- ・ 多くの学校が国語・数学・英語の3教科の学力試験を実施しますが、学校によっては2教科を選択したり、社会や理科の試験を加えるところもあります。
- ・ 入試問題に独自の出題傾向がある場合が多いので、前もって過去問題を解き、慣れておくことが必要です。
- ・ 記述式かマークシートか、また英語のリスニングテストの有無、検査の時間などについても確認しておくことが必要です。

② 面接

- ・ 個人面接、グループ面接、親子面接などがあり、学校や推薦・一般の別によっても方法が異なります。
- ・ 面接を重視する高校は多く、志望理由や抱負、ものの見方や考え方を問うことの他に、礼儀や態度、言葉遣い、頭髪や服装についても細かくチェックされます。

③ 作文・小論文

- ・ 作文や小論文を実施する学校もあります。400～600字程度を、時間を決めて書く練習を行っておきましょう。

(7) 合格発表（各高等学校によって異なります。）

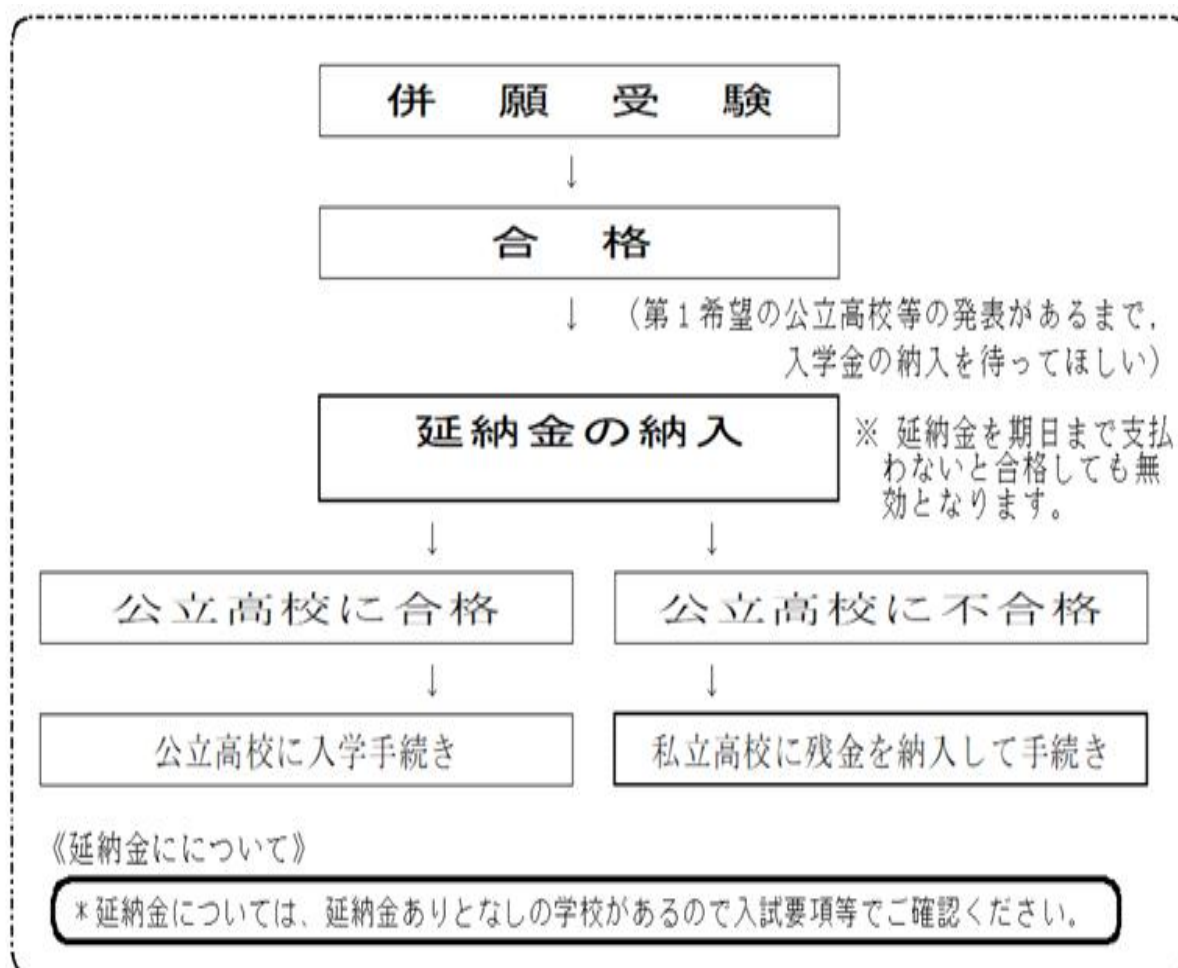
- ・ 試験日の翌日以降1週間以内がほとんどです。
- ・ 学校掲示、HP、郵送（本人宛、学校長宛）など発表方法についても確認が必要です。

(8) 入学手続き

- ・ 第1希望（単願・専願・専願推薦）の場合は、一括納入。
- ・ 第2希望（併願・併願推薦）の場合は、公立の可否発表日まで延納が可能な学校が多く、延納金や延納願いが必要になる学校が多いので期間内に手続きすることになります。

(9) 延納金制度について

私立高校を併願で受験する生徒に対する制度です。入学金の納入を公立高校の発表後まで待ってもらうものです。延納金を納めれば公立高校の発表まで、その私立高校に入学する権利は確保されます。延納金を納めた私立高校に入学する場合は、延納金が入学金の一部として扱われますが、それ以外の高校に進学する場合は、返金されませんので注意してください。



2 私立高校の優遇制度〔入試相談〕

私立高校では、事前に中学校側と通知表の成績等にもとづいて事前の相談を行う制度「入試相談制度」があります。入試相談は第1希望の受験者だけでなく、併願受験者についても行われる場合があります。※私立高校の中には、入試相談がない高校もあります。

入試相談とは、高校側で示す成績（通知表の5段階評価）や欠席日数などの基準をもとに、その受験者が推薦受験の資格があるか、また推薦でなくても専願・併願受験者に対して、高校側で合格の目安や可能性を示すものです。入試相談では、推薦・専願・併願などの受け方で、それぞれの志望順である一定の基準が示され、その基準に達していると、入試の際に優遇措置が得られ合否判定で有利になります。ただし、あくまで合格の可能性ですので、当日の学科試験や面接次第では不合格となってしまう場合もあるので、気を緩めることなく受験に臨むことが必要となります。

この入試相談は、千葉県では12月15日（月）から始まります。したがって、校内での書類の取りまとめや資料作成に時間が必要なため、11月下旬の三者面談で、私立高校については受験校（希望順位も含めて）を確定してください。

＜入試相談に関して＞

- ① 11月からの三者面談終了後に「受験校確認書」を配付いたします。三者面談終了後すみやかに提出をお願いします。
- ② 受験しようとしている学校の入試相談の有無については、学級担任にご確認ください。
- ③ 相談後の私立高校受験変更に関しては、入試相談での結果による変更を除き、行わないようにお願いいたします。
- ④ 私立高校の志望順位について確実に確定して下さい。志望順位があいまいな場合には相談対象にならない場合も出てきますので注意してください。
- ⑤ 保護者や兄弟が同窓生の場合に有利に扱ってもらえる高校があります。その場合、三者面談や受験校確認書でも、その旨を担任へ伝えてください。

Ⅲ その他の上級学校

1 通信制高校

（1）県立通信制高校など

- ・ 所定の報告課題（レポート）をすべて提出する。その内容が優れていること。
- ・ 面接指導（スクーリング）に所定の時間数以上出席すること。
- ・ 高校での定期試験を受験し、合格すること。

この3点を行うことで授業の単位が取得でき、高等学校を卒業できるのが通信制高校です。入学者選抜は、書類審査の他に、面接と作文(県立千葉大宮高校)によります。

毎日登校しなくても、根気を持って計画的に学習を進められれば、高等学校を卒業できます。1年のうちの1週間程度集中して高校で勉強（スクーリング）すればよいという高校や、月に1回か2回登校すればよいという高校もあります。制度は各高校ごとに違うので、事前にしっかりと確認する必要があります。

＜学校例＞

千葉県立千葉大宮高等学校 NHK学園高等学校

（2）全日登校できる通信制高校

通信制高校の中には、平日（一部土曜もあり）登校できる高校もあります。登校することで提出するレポートの内容を授業で学びます。学習面で遅れのある部分もサポートしてくれます。通学に関しても学割定期の利用ができ、全日制高等学校と制度の違いだけで実態は同じ高校です。また、登校に関しては、登校できる形態を取っているだけで、卒業認定、進級認定に欠席した日数の合計が関わることはありません。

〈学校例〉（同不順）

明聖高校 飛鳥未来高校 屋久島おおぞら高校 第一学院高校 さくら国際高校
中央国際高校 クラーク記念国際高等学校 あずさ第一高校 N高校 鹿島学園高校
一ツ葉高校 わせがく高等学校 中山学園高校 東葉高等学校 敬愛大学八日市場高校

② サポート校

何らかの理由で学校に登校できなかったり、勉強や生活をするのが困難であったりした生徒を対象に、生活及び学習活動の支援を行っているのが、サポート校と呼ばれる学校です。サポート校には様々なタイプの学校形態がありますが、大半は広域通信制高校に同時に入学し、その高校の学習支援を中心に行います。

①通信制高校サポート校

別に通信制高校に在籍し3年間で確実に卒業できるように学習面や生活面で支援する民間の教育機関です。少人数指導、個別カウンセリング、体験学習を重視したプログラムなどを通して生徒に達成感を持たせています。同時に高校卒業資格を確実に手に入れるためのレポート指導や教科指導、スクーリング指導を行います。

②才能開発タイプ

音楽・芸能・スポーツなど。プロの講師陣などによる本格的なレッスンを受けて自分の才能をさらに伸ばします。

③登校促進タイプ

不登校経験をした生徒の気持ちを大切にしてカウンセリングなどが充実しています。学習の遅れなどへの対応を中心に実施します。

④大学進学重視タイプ

予備校や学習塾などが母体となった学習に主眼を置いたサポート校です。

⑤自分発見タイプ

体験授業や資格・技能の習得などを積極的に進め、自分にあった進路発見を目指す形態です。

〈学校例〉（同不順）

トライ式高等学院 KTCおおぞら高等学院 KG高等学院 なりた翔洋学園

③ 専門学校

多くの専門学校では高等課程があり、通信制高校と連携して高等学校の卒業資格がとれる。推薦入試と一般入試があり、複数回試験日を設定している学校も多い。募集人員は少人数（40名～80名）の学校が多い。試験内容は学力試験・面接・作文・適性検査など学校の規定による。早い段階で受験した方が合格の可能性が高い傾向がある。

〈学校例〉（同不順）

パリ総合美容専門学校 千葉モードビジネス専門学校 中央自動車大学校
野田鎌田学園高等専修学校

Ⅳ 高等専門学校

高等専門学校（高専）は、中学卒業後、5年間の本科（準学士課程）において、国語、社会、保健・体育、外国語などの人文学系、数学や物理などの基礎学系の全人的な教育に加えて、実験、と研究を進め、専攻科修了者は大学評価・学位授与機構の審査を経て学士（工学）の学位が取得できま実習を重視した工学教育を行う高等教育機関です。専攻科ではさらに2年間の高度な専門教育です。高専卒業後は、大学や大学院への進学、研究部門や開発部門など実践的技術者として高い就職率を誇っています。費用は国立と私立では違いがあり、国立では、公立高校より費用がかかります。募集人数や受験日については各校において様々ですが、推薦入試が1月、一般入試が2月上旬から中旬にかけて行われるところが多いです。受験科目や日程については各学校のホームページを参照してください。

〈学校例〉（同不順）

木更津工業高等専門学校 東京工業高等専門学校 サレジオ高等工業専門学校

V 就職を希望する場合

職業安定所を通しての就職は、中学校卒業生を対象とした求人が大変少なく、非常に厳しい現状です。※就職希望者で、まだ学級担任に連絡していない方は、早急に連絡をお願いします。

- ・ 10月下旬～ 就職希望者の名簿提出、職安職員との職業相談
- ・ 11月下旬 職安紹介就職希望者の応募書類の作成
- ・ 1月上旬～ 採用選考開始

5 受験のパターン（全日制高校）

〈公立高校が第1希望の場合〉

A ①公立高校、②私立高校（併願） と決めて、**受験**の準備をする

- ・ 私立高校の結果後に、公立高校を受検するので、合格する可能性が高い私立高校の受験がおすすめ。（入試相談の制度をうまく利用して）
- ・ 延納金の確認もする。延納金制度のある場合、支払わないと合格の権利がなくなる。

B ①公立高校、②私立高校、③私立高校 で受験

- ・複数の私立高校を受験する際には、志望順位や入試スケジュールも考える。連続受験は想像以上の負担となる。
- ・チャレンジで高校を受けた結果、自信をなくし、余裕があると思っていた第一希望の公立高校も失敗した例もある。

C ①公立高校のみ で受験

- ・もし一般入学者選抜で不合格になった場合、公立第2次募集しかない。
- ・合格する可能性の高い受検校を選ぶ必要がある。
- ・一般入学者選抜で、不合格になった段階で私立高校を探しても、希望する私立高校の定員が既に埋まっている可能性が高い為、初めから私立高校の併願受験を検討するのが望ましい。(上記の**A**とすべき)

＜私立高校が第1希望の場合＞

D ①私立高校、②公立高校 で受験

E ①私立高校、②私立高校、③公立高校 で受験

F ①私立高校、②公立高校、③私立高校 で受験

- ・上記の**D**～**F**の場合、合格した第一希望の私立高校に、必ず進学することになる。
- ・~~合格通知後は、自分の実力を試す目的での公立高校受検などとはできない。~~
- ・入学金等の納入締切日に注意し、準備をしておく。

6 就学支援金・奨学金等について

A 就学支援金の制度（国）

高等学校無償化法にもとづいて、所得に応じて授業料の全部あるいは一部を支援する制度。

B 奨学のための給付金制度（千葉県）

非課税である世帯等の授業料以外の教育費負担を軽減するための制度。

C 授業料減免制度、入学金軽減制度（千葉県）

保護者の経済的理由により授業料の全額又は一部を免除する制度。

D 奨学金制度

- 1 千葉県 2 佐倉市 3 民間団体
a 返還型 b 給付型

E 私立高校の奨学金制度、特待生制度、

授業料・入学金免除の制度

詳しくは各学校の入試要項や学校説明会等でご確認ください。

F 高等学校の授業料を補助する制度（国）。

令和2年度より所得に応じて私立学校の授業料をカバーできるくらいまで支給されるように拡大しました。

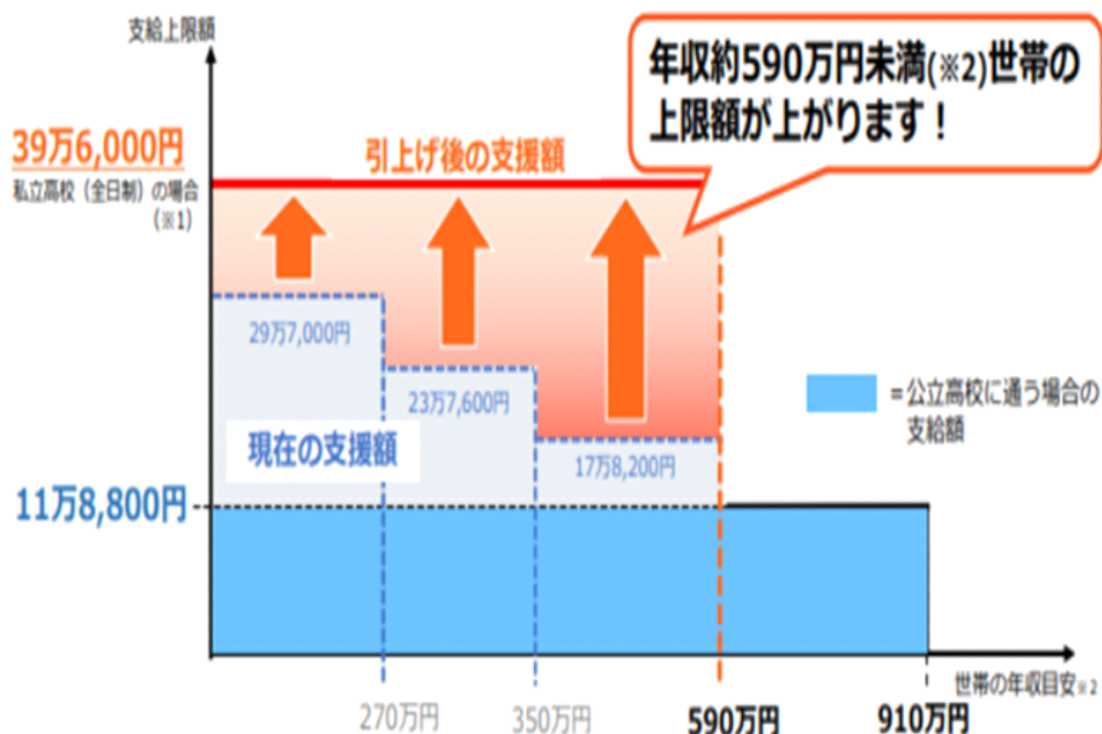
MEMO

令和2年4月から

私立高校授業料実質無償化

がスタート！

高等学校等就学支援金（返還不要の授業料支援）の制度改正で、
私立高校等に通う生徒への支援が手厚くなります！



※1 私立高校（通信制）は29万7,000円、
国公立の高等専門学校（1～3年）は23万4600円が支給上限額。

※2 両親・高校生・中学生の4人家族で、両親の一方が働いている場合の目安（家族構成別の年収目安は裏面下表参照）。



お申込みについて

（新入生の皆さん）

入学時の4月など手続きが必要な時期に学校から案内があります。必ず確認してください。

※令和2年4月より、一部の書類がオンラインにより提出できるようになります。